

薬には病気を治したり、症状をやわらげたりする効果がある一方、副作用があらわれることがあります。医師に指示された用法・用量にしたがって使用してください。体調が良くなったと自分で判断し、使用することをやめたり、量を加減したりすると、病気が悪化することがあります。

薬のことでわからないこと、心配なことなどがありましたら、医師や薬剤師に相談してください。

アムロジピン OD 錠 2.5mg 「NS」、アムロジピン OD 錠 5mg 「NS」、アムロジピン OD 錠 10mg 「NS」

一般名： アムロジピンベシル酸塩 (Amlodipine Besilate)	販売名	アムロジピン OD 錠 2.5mg 「NS」	アムロジピン OD 錠 5mg 「NS」	アムロジピン OD 錠 10mg 「NS」
	形状 (製剤 写真 等)			

1. どんな薬

○ この薬は、血管の細胞にあるカルシウムの通り道に作用して、カルシウムイオンが細胞の中に入るのを抑えます。その結果、手や足などの血管を広げて血圧を下げます。また、心臓の血管にも働いて、胸が苦しくなる^{ほっさ}発作が起こらないようにします。[カルシウム^{きっこうざい}拮抗剤]

2. この薬を使用できない人、特に注意して使用する必要がある人

❌ 次の人はこの薬を使用できません。必ず医師や薬剤師に相談してください。

・ 過去にジヒドロピリジン系化合物で^{かびんしょう}過敏症*のあった人

*過敏症^{かびんしょう}：体がゾクゾクして寒く感じる、ふらつき、汗をかく、熱が出る、ぼんやりしてまわりのことがよく分からなくなる、唇のまわりがはれる、息がしにくいと感じる、かゆみ、皮膚にブツブツができる

○ 次の人は特に注意が必要です。使い始める前に医師や薬剤師に相談してください。

- ・ 血圧がとても低い人
- ・ 心不全のある人
- ・ 腎臓に重い障害のある人
- ・ 肝臓に障害のある人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・ 授乳中の人

○ この薬には一緒に使用する場合に注意が必要な薬や飲み物があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師や薬剤師に相談してください。

3. この薬を使うにあたり注意すべき副作用・注意すべきこと

○ 高い所の作業、自動車運転など：血圧が下がることにより、めまいなどがあらわれることがあるので、高い所の作業や自動車の運転などの危険を伴う機械を操作する場合は、十分に注意してください。

4. ほかに知られている副作用

比較的よくみられる副作用の一例は以下のとおりです。これら以外の副作用もあらわれることがあります。これらの症状や、普段と異なる症状に気づいたら、医師や薬剤師に相談してください。

主な症状	考えられる副作用
体重が増える、体のむくみ、目がはれぼったい	^{ふしゅ} 浮腫
顔や体が熱い感じがする、熱っぽさがある、顔が赤くなり、熱い感じがする	ほてり(^{ねつかん} 熱感、 ^{がんめんちようこう} 顔面潮紅 など)
体がふわふわと浮いているような感じがする、ふらつき、頭がグルグルと回っている感じがする	めまい・ふらつき

5. 保管方法

- 光と湿気をさけて室温（1～30℃）で保管してください。
- この薬を割って使用する場合は、光と湿気をさけて保管し、早めに使用してください。

6. 問い合わせ先

症状、使用方法、副作用などについて不明な点がある場合は、医師や薬剤師におたずねください。
この製品に対する一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売業者：日新製薬株式会社 安全管理部

販売会社：第一三共エスファ株式会社 (<https://www.daiichisankyo-ep.co.jp/>)

電話：お客様相談室 0120-100-601、受付時間：9:00～17:30（土、日、祝日、当社休日を除く）

※医薬品副作用被害救済制度：お薬は正しく使っていても、副作用が起こることがあります。もしも副作用で重い健康被害が生じた場合に、医療費や年金などの給付が受けられる公的な制度です。

制度の詳細はこちらをご覧ください。

https://www.pmda.go.jp/kenkouhigai_camp/index.html

なお、抗がん剤、免疫抑制剤や抗ウイルス薬などにはこの制度の対象にならないものがあります。対象外となる医薬品はこちらから検索いただけます。

<https://www.pmda.go.jp/relief-services/adr-sufferers/0022.html>